

「建設機械施工」誌 表紙の変遷



創刊号 (S24.7.1 発行)
タブロイド版 4頁



創刊2号 (S24.8) ~
タブロイド版 4頁 誌名字体変更



創刊3号 (S24.10)



No.11 (S25.10) ~
B5判に製本 表紙なし



No.13 (S26.1) ~
製本 表紙付き



No.21 (S26.9) ~
カラー表紙付き 白黒写真



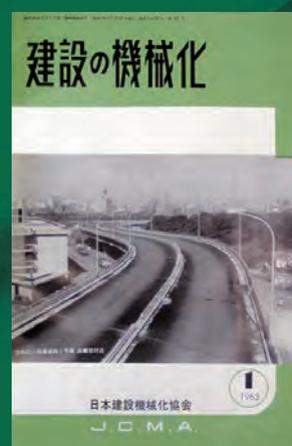
No.31 (S27.9) ~
表紙タイトル大型化



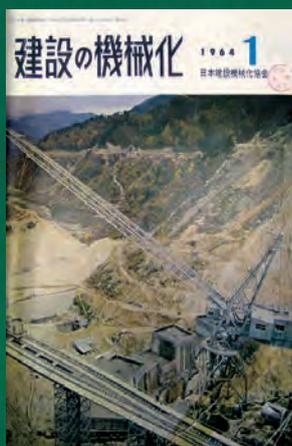
No.41 (S28.7) ~
表紙タイトル 小型化



No.71 (S31.1) ~
表紙タイトル 更に小型化



No.155 (S38.1) ~
表紙タイトル 左に寄る



No.167 (S39.1) ~
表紙 カラー写真化



No.503 (H4.1) ~
カラー写真の形状変更



No.635 (H15.1) ~
大型化 (B5判からA4判へ)



No.647 (H16.1) ~
報文名を記載



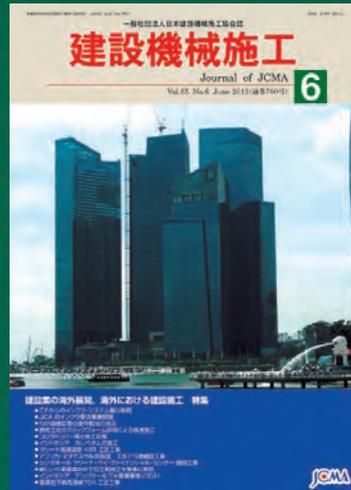
No.652 (H16.6) ~
誌名変更「建設の施行企画」へ



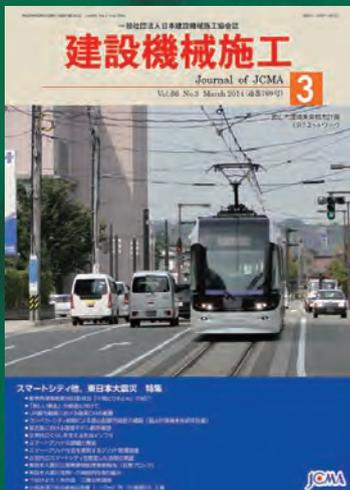
No.671 (H18.1) ~
特集名のみ記載



No.719 (H22.1) ~
青帯に特集テーマ、報文名を記載



No.760 (H25.6) ~
誌名変更



No.769 (H26.3) ~
青帯を狭く



No.770 (H26.4) ~
誌名の書体変更 (DFP平成ゴシック体→丸フォークPro), 特集テーマを表紙に記載、報文名を抜粋



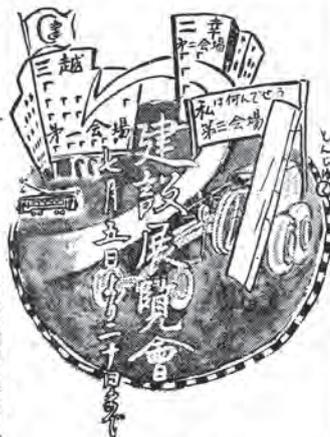
No.772 (H26.6) ~
写真を縦長に変更



No.774 (H26.8) ~
号数の書体変更 (ITC Avant Garde Gothic → Bitstream-Broadway BT)

建設の機械化

編集・印刷・発行人
金森 誠之
発行所
建設機械化協会 事務局
東京都千代田区丸の内
二丁目九番ビル513
小松製本所内



その建設展に就いて
座談會が開かれた
七月二十三日建設ビルで
普及部會主催

建設機械は二ツ あるべきである

金森 誠之

建設機械は二ツあるべきである。第一は、建設機械の普及である。第二は、建設機械の改良である。第一の普及は、建設機械の性能を向上させることである。第二の改良は、建設機械の構造を改良することである。建設機械の普及は、建設機械の性能を向上させることである。建設機械の改良は、建設機械の構造を改良することである。建設機械の普及は、建設機械の性能を向上させることである。建設機械の改良は、建設機械の構造を改良することである。

建設機械の普及は、建設機械の性能を向上させることである。建設機械の改良は、建設機械の構造を改良することである。建設機械の普及は、建設機械の性能を向上させることである。建設機械の改良は、建設機械の構造を改良することである。建設機械の普及は、建設機械の性能を向上させることである。建設機械の改良は、建設機械の構造を改良することである。

飯塚(建設省資材課)

飯塚 誠之

建設機械の普及は、建設機械の性能を向上させることである。建設機械の改良は、建設機械の構造を改良することである。建設機械の普及は、建設機械の性能を向上させることである。建設機械の改良は、建設機械の構造を改良することである。建設機械の普及は、建設機械の性能を向上させることである。建設機械の改良は、建設機械の構造を改良することである。

伊藤(建設省渉外課)

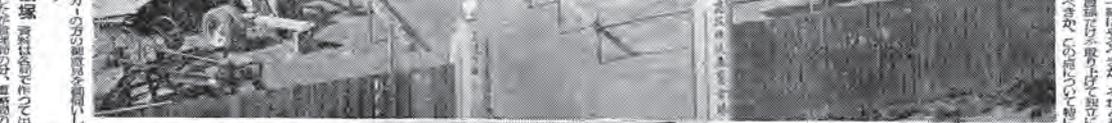
伊藤 誠之

建設機械の普及は、建設機械の性能を向上させることである。建設機械の改良は、建設機械の構造を改良することである。建設機械の普及は、建設機械の性能を向上させることである。建設機械の改良は、建設機械の構造を改良することである。建設機械の普及は、建設機械の性能を向上させることである。建設機械の改良は、建設機械の構造を改良することである。

中野(建設省私報課)

中野 誠之

建設機械の普及は、建設機械の性能を向上させることである。建設機械の改良は、建設機械の構造を改良することである。建設機械の普及は、建設機械の性能を向上させることである。建設機械の改良は、建設機械の構造を改良することである。建設機械の普及は、建設機械の性能を向上させることである。建設機械の改良は、建設機械の構造を改良することである。



建設機械の普及は、建設機械の性能を向上させることである。建設機械の改良は、建設機械の構造を改良することである。建設機械の普及は、建設機械の性能を向上させることである。建設機械の改良は、建設機械の構造を改良することである。建設機械の普及は、建設機械の性能を向上させることである。建設機械の改良は、建設機械の構造を改良することである。

建設機械の普及は、建設機械の性能を向上させることである。建設機械の改良は、建設機械の構造を改良することである。建設機械の普及は、建設機械の性能を向上させることである。建設機械の改良は、建設機械の構造を改良することである。建設機械の普及は、建設機械の性能を向上させることである。建設機械の改良は、建設機械の構造を改良することである。

〔技術欄〕



トラクターの研究課題
小松製作所

トラクターの建設機械としての用途の主なるものはブルドーザーとスクレーパーでこれらは建設機械の中核をなすものである...

建設に於ては、昭和六年以来トラクターの生産を続けてきたが、元が農業用として発達した歴史が背景にある...

ディーゼル機関の始動方式には、セルモーター式採用に代ったガソリン始動機方式、燃費効率を高めるために始動時の圧縮比を下げてガソリン機関として始動する方式がある...

圧縮機方式はドイツのトラクターには実用があるが、我が国でも戦時中大型エンジンが一度採用された例がある...

ディーゼル機関の始動方式には、セルモーター式採用に代ったガソリン始動機方式、燃費効率を高めるために始動時の圧縮比を下げてガソリン機関として始動する方式がある...

ディーゼル機関の始動方式には、セルモーター式採用に代ったガソリン始動機方式、燃費効率を高めるために始動時の圧縮比を下げてガソリン機関として始動する方式がある...

ディーゼル機関の始動方式には、セルモーター式採用に代ったガソリン始動機方式、燃費効率を高めるために始動時の圧縮比を下げてガソリン機関として始動する方式がある...

ディーゼル機関の始動方式には、セルモーター式採用に代ったガソリン始動機方式、燃費効率を高めるために始動時の圧縮比を下げてガソリン機関として始動する方式がある...

機軸の力を輪じしたものは比較的小さい、走行抵抗係数を切った時の抵抗も、殆んど未知の値が多く、設計者は概算、概算値の何%と抑えておくに過ぎない...

機軸の力を輪じしたものは比較的小さい、走行抵抗係数を切った時の抵抗も、殆んど未知の値が多く、設計者は概算、概算値の何%と抑えておくに過ぎない...



キャタピラートラクター
給油談義 (其の一)
渡邊隆之助

1. 給油の心構え キャタピラートラクターの寿命は1万時間程度とされているが、使用者の間違ひに依つては2万時間にも、2万5千時間にも達される...

給油の心構えは、給油量の指定する際、予定された時間、指定油を満すことである。農業用エンジンなら、指定油として予定油に注意する必要がある...

給油の心構えは、給油量の指定する際、予定された時間、指定油を満すことである。農業用エンジンなら、指定油として予定油に注意する必要がある...

したものと異なる。此の割合を土を潤湿に養えば、レイノルズ比は値も考えられ、傾斜角等のスケールの問題も出て来るであろう...

傾斜角の測定は、傾斜角計を用いて測定する。傾斜角計は、傾斜角の測定に用いられる。傾斜角計は、傾斜角の測定に用いられる...

傾斜角の測定は、傾斜角計を用いて測定する。傾斜角計は、傾斜角の測定に用いられる。傾斜角計は、傾斜角の測定に用いられる...



キャタピラートラクター
給油談義 (其の一)
渡邊隆之助

2. 主クラッチ主動板の給油 D8D7D6の主クラッチ主動板は、クラッチが切れた時、コロボックルに依つて、クラッチ軸のまわりを回転する構造になっている...

主クラッチ主動板の給油は、クラッチが切れた時、コロボックルに依つて、クラッチ軸のまわりを回転する構造になっている...

主クラッチ主動板の給油は、クラッチが切れた時、コロボックルに依つて、クラッチ軸のまわりを回転する構造になっている...

も、フィッティングが上の方に残らないと一寸西打ちしたくなる。カバーをあけたことだけで役員が粗筋だか解り易く給油もし直ぐで、又カバーを上げて居ることがある...

フィッティングが上の方に残らないと一寸西打ちしたくなる。カバーをあけたことだけで役員が粗筋だか解り易く給油もし直ぐで、又カバーを上げて居ることがある...

フィッティングが上の方に残らないと一寸西打ちしたくなる。カバーをあけたことだけで役員が粗筋だか解り易く給油もし直ぐで、又カバーを上げて居ることがある...

フィッティングが上の方に残らないと一寸西打ちしたくなる。カバーをあけたことだけで役員が粗筋だか解り易く給油もし直ぐで、又カバーを上げて居ることがある...

『編』『集』『後』『記』

『編』『集』『後』『記』 二号を編み終ることにいたしました。キャタピラは、建設機械の中心であり、その重要性は、建設現場に於いて、極めて重要な役割を果たしている...

『編』『集』『後』『記』 二号を編み終ることにいたしました。キャタピラは、建設機械の中心であり、その重要性は、建設現場に於いて、極めて重要な役割を果たしている...

『編』『集』『後』『記』 二号を編み終ることにいたしました。キャタピラは、建設機械の中心であり、その重要性は、建設現場に於いて、極めて重要な役割を果たしている...

四台風の災害復舊費

卅五億圓閣議で決定

閣議は昨日(十四日)午後二時、復興院議事堂で、四台風の災害復舊費の決定を、閣議で決定した。決定額は、計三十五億圓である。これは、前年度に比し、一億圓増額である。決定額は、計三十五億圓である。これは、前年度に比し、一億圓増額である。

運輸省港灣局関係 機械豫算約五億圓

運輸省港灣局関係の機械豫算は、約五億圓である。これは、前年度に比し、一億圓増額である。決定額は、計三十五億圓である。これは、前年度に比し、一億圓増額である。

河川工事と機械化施工

山本 三郎



写真(上)間の島堤防決壊・櫻木町通
(下)廣澤町松原渡附近



写真(上)間の島堤防決壊・櫻木町通
(下)廣澤町松原渡附近

河川工事の機械化は、近年著しく進歩した。これは、前年度に比し、一億圓増額である。決定額は、計三十五億圓である。これは、前年度に比し、一億圓増額である。

河川開發事業 各地で着工

M・I 生

河川開發事業は、各地で着工した。これは、前年度に比し、一億圓増額である。決定額は、計三十五億圓である。これは、前年度に比し、一億圓増額である。



秋近し (常願寺川にて)

河川工事の機械化は、近年著しく進歩した。これは、前年度に比し、一億圓増額である。決定額は、計三十五億圓である。これは、前年度に比し、一億圓増額である。

河川工事の機械化は、近年著しく進歩した。これは、前年度に比し、一億圓増額である。決定額は、計三十五億圓である。これは、前年度に比し、一億圓増額である。

明年度公共事業費豫算 八百億圓

明年度公共事業費の豫算は、八百億圓である。これは、前年度に比し、一億圓増額である。決定額は、計三十五億圓である。これは、前年度に比し、一億圓増額である。

明年度公共事業費の豫算は、八百億圓である。これは、前年度に比し、一億圓増額である。決定額は、計三十五億圓である。これは、前年度に比し、一億圓増額である。



電力開発の土木工事!

日立の建設機械

ケーブルクレーン 各種コンベヤ
各種巻上機 各種ポンプ
各種モーター 各種ドリル
各種クワシヤル 各種コンプレッサ
パワーシヨベル 各種岩盤

日立製作所

零は何倍しても
零である!

憂憤生

日立製作所

技術欄

建設機械の研究について



河上房義

専ら、設備はその存続からいって、非常に多...

先ず「研究」といふことは、基礎的分解を...

先ず「研究」といふことは、基礎的分解を...

元来、わが国では建設工場の機械化が比較...

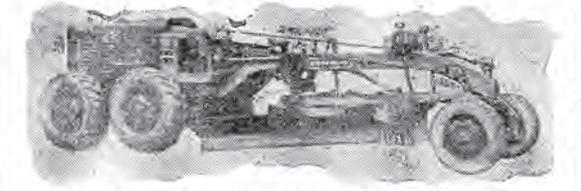
加して取り上げらるべき重要事項として研...

しては、建設機械の各部分の構造と動作...

更にこれらの研究の主要な特徴は、原則的...

私はこの点で、特に建設者の注意を喚起...

その程度は決して古拙ではないが、廣く技...



HA56モーターグレーダーに就いて

日本開発機械製造株式会社

[1] 全般的構造について

本機は標準キヤタビラー 型NO. 112 用モ...

- 1. 主要寸法 全長 7620ミリ 全幅 2630ミリ...

- 2. 運送走行径 一部 4時3分 二部 4.5分...

- 3. 発電機 直流 手動発電機並列直列式水冷ディーゼル...

- 4. 作業電機 密閉型作業機、密閉型発電機、電動機等...

- 5. 作業装置 標準方式 標準式直進装置...

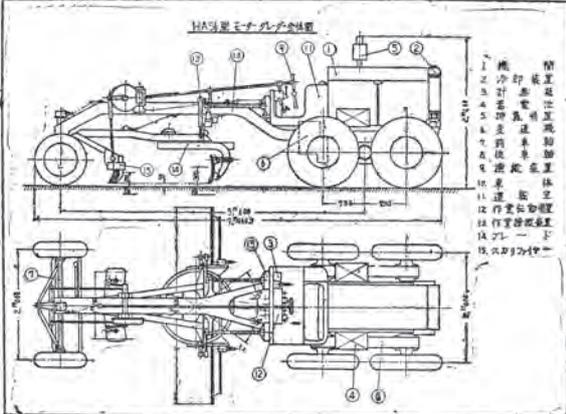
プレート用鋼板 ショールダーリーチ最大...

ホイール 1米200、橋上高さ150ミリ...

以上の諸元で明らかになることは本機は...

[2] 本機の使用価値に就て

建設工事の機械化と中央集約化とは同じく...



日本開発 HA56 型モーターグレーダーの経済性について

本機は23年間にグレーダー2台を購...

Table with 4 columns: 品名, 数量, 単価(円), 総額(円). Lists items like 燃料, 油, タイヤ, etc.

人と云うより1人当り5700円に相当する工...

『編輯』後記

この号の好評に感涙した。この3号は3号あ...

[3] 結言

昨年1カ月前に於ける米國土木工事費は5...

Advertisement for '誰にもわかる 土木機械の技方!' (Who can understand the techniques of civil engineering machinery!).

Advertisement for JREA (Japan Road Engineering Association) and its journal.